

● ロタウイルス予防接種のお知らせ ●

ロタウイルス感染症の予防接種が令和2年10月1日から定期接種になります。

※各医療機関により予防接種の日時は異なります。予約が必要な場合がありますので、事前にお確かめのうえお出かけください。

※川崎市外の医療機関で定期予防接種を希望する場合は、事前の手続きが必要です。

● 受けられる人

令和2（2020）年8月1日以降に生まれた人

（ただし、令和2年9月30日までの予防接種は任意接種となり、費用がかかります。）

● ワクチンの種類について

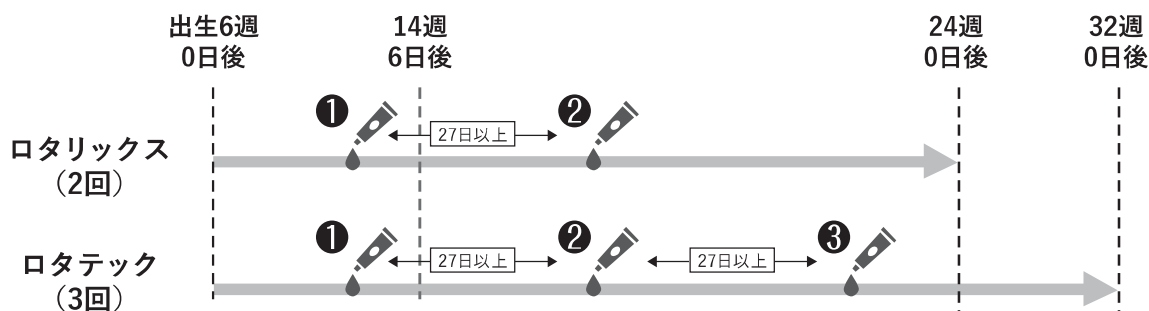
ロタウイルスワクチンには2種類あり、どちらも生ワクチンで、飲むワクチンです。

予防効果や安全性に差はありませんが、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。

ワクチン名	対象となる接種期間	接種回数・間隔
ロタリックス	出生6週0日後から24週0日後 (初回接種は出生14週6日後までに接種してください)	2回接種 (27日以上の間隔をあける)
ロタテック	出生6週0日後から32週0日後 (初回接種は出生14週6日後までに接種してください)	3回接種 (27日以上の間隔をあける)

出生6週0日後とは生まれた日の曜日から6週目の同じ曜日です。

標準的な接種スケジュール



※1回目の接種は、出生14週6日後までに受けましょう

2回目以降は、27日以上の間隔をあけますが、できるだけ早く接種を完了しましょう

※出生〇週〇日後は、誕生日の翌日を1日目として数えます

※27日以上あけて接種しますので、次の接種は4週間後の同じ曜日から可能となります。

● 副反応について

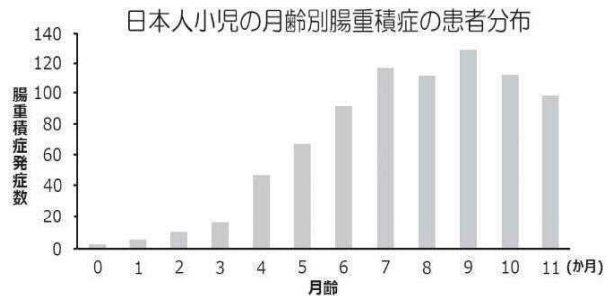
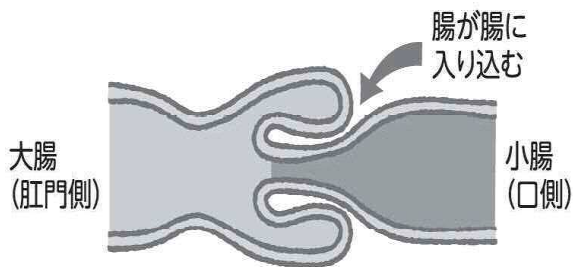
主な副反応は、ぐずり、下痢、咳・鼻水、発熱、食欲不振、嘔吐などです。

ただし非常にまれですが、腸重積症、血便排泄などが報告されています。

腸重積症について

腸重積症とは、腸が腸に入り込み、閉塞状態になることです(下図)。0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、もともと、3か月ぐらいから月齢が上がるにつれて多くなります(下のグラフ)。早く接種を開始し、完了させることがすすめられています。腸重積症は手術が必要になることもあります。発症後早く治療すれば、ほとんどの場合、手術せずに治療できます。

以下のような症状が一つでも現れたら、腸重積症が疑われます。



腸重積症が疑われる症状

- ☐ 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- ☐ 嘔吐を繰り返す
- ☐ ぐったりして顔色が悪くなる
- ☐ 血便が出る

このような症状に気づいたら、すみやかに接種した医療機関を受診してください。接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、このワクチンを接種したことを医師に伝えてください。

ワクチンを接種する前

赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、ワクチンの効果には問題ありませんので、再度接種をする必要はありません。

ワクチンを接種した後

予防接種を受けたあと30分程度は、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。まれに、急な副反応が起こることがあります。

ワクチン接種後の2週間ほどは、赤ちゃんの便の中に、ワクチンのウイルスが含まれることがあります。おむつ交換の後など、ていねいに手を洗ってください。また、高熱やけいれんなど、異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

問合せ先

川崎市予防接種コールセンター

TEL 044-200-0142
FAX 044-200-3928

【電話番号の掛け間違いにご注意ください】

川崎市予防接種コールセンターにお問合せの際に、電話番号で掛け間違いが発生しています。電話番号をよく確認のうえ、掛け間違いのないようお願いいたします。

川崎市健康福祉局保健所 予防接種担当
川崎市川崎区宮本町1番地



川崎市ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/>

「川崎市 予防接種」で検索

川崎市 予防接種 🔍 検索

